

## 巻頭グラビアまでの参考文献

- 1) 阿部二郎:総義歯の臨床—下顎総義歯を吸着させるために—.日本歯科評論, 679:159-174, 680:125-139, 681:141-157, 1999.
- 2) 阿部二郎:誰にでもできる下顎総義歯の吸着. ヒューロン・パブリッシャーズ, 東京, 2004.
- 3) 阿部二郎, 小久保京子, 佐藤幸司:4 Step で完成 下顎吸着義歯と BPS パーフェクトマニュアル. クインテッセンス出版, 東京, 2011.
- 4) 阿部二郎, 岩城謙二, 須藤哲也, 小久保京子:下顎総義歯吸着テクニック ザ・プロフェッショナル. クインテッセンス出版, 東京, 2017.
- 5) 佐藤勝史:What is Suction Denture?. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2014.
- 6) 佐藤勝史:This is Suction Denture!. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2017, 41-64.
- 7) 佐藤勝史:"Questions!"about Suction Dentures. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2021, 58-59.
- 8) Sato K, Hayashi H, Nagata K, Jimbu T, Adachi R, Azuma S, et al: Clinical study on factors related to oral health- related quality of life of patients with complete dentures: Multi-center study of an impression method in pursuit of a suction-effective mandibular complete denture. JICD Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry. 4 (1), 2023.

# Contents

## Ultimate Suction Denture!

003	本書を発行するにあたり
004	巻頭グラビア
013	<b>Prologue</b> 顎堤条件の良否を決める基準因子
017	<b>Chapter 1</b> 無歯顎精密印象の変遷
031	<b>Chapter 2</b> 下顎の顎堤吸収症例に適した印象法は？
035	<b>Chapter 3</b> 下顎無歯顎の口腔内条件と吸着との関係性
036	01 頭位による口腔粘膜の変化と吸着検査
037	02 開閉口時の口腔底部の形態変化の臨床的観察と総義歯製作時の対応法
038	02-1 開閉口時の口腔底部の形態変化の臨床的観察
045	02-2 口腔底部からの封鎖もれの確認法
046	02-3 症例Ⅰ 舌房狭窄によって舌が後退位をとり、口腔底が沈下した症例
047	1. 人工歯排列位置による舌房狭窄
048	2. 床舌側形態による舌房狭窄
050	3. 舌の横腹相当部の床の厚みによる舌房狭窄
051	4. 骨隆起に起因する舌房狭窄

052	02-4 症例Ⅱ 舌が後退位をとって口腔底が沈下した症例
057	1. 舌房狭窄因子が発見できない、 あるいは舌房狭窄因子を除去しても舌の後退位を起 こしている
060	2. オーラルディスクネジア
065	02-5 症例Ⅲ 舌が後退位をとって口腔底がせり上がる症例
071	02-6 例外症例
074	03 開閉口時の舌と頬粘膜の寄りの臨床的観察と 総義歯製作時の対応法
075	03-1 開閉口時のレトロモラーパッド周辺組織の臨床的観察
080	03-2 レトロモラーパッド周辺部からの封鎖もれの確認法
082	03-3 症例
082	1. 吸着するパターン①
083	2. 吸着するパターン②
085	3. 吸着が得られないパターン①
087	4. 吸着が得られないパターン②
089	5. 吸着が得られないパターン③

**Chapter 4 Suction Denture製作プロトコール**

093	
094	01 Suction Denture完成までの流れ
099	02 概形印象
111	03 簡易咬合採得
121	04 舌の後退位を考慮した精密印象
146	05 ゴシックアーチ咬合採得
165	06 試適 転覆検査

168	07 装着前リマウント
174	08 Suction Denture形態の特徴

**Chapter 5 下顎無歯顎高度顎堤吸収症例の特徴と  
その対処法**

177	
178	01 レトロモラーパッドの変形
182	02 顎舌骨筋線下部粘膜の疼痛・潰瘍
186	03 開口時の口腔底の挙上
190	04 顎堤の平坦化
191	05 密着できる顎堤粘膜面積の狭小化
196	06 粘膜の菲薄化
201	07 下口唇の内側転位

**Chapter 6 下顎高度顎堤吸収症例の  
下顎義歯製作のプロトコール**

**Chapter 7 デジタルデンチャー**

203	
209	
215	あとがき

装丁・デザイン：金子俊樹 対馬りか